

## 調理技術教育学会 各分科会内容

分科会名	実習教育関連分科会
テーマ	養成施設における「主体的な追究と学び」を実現させる実習教育について
設置趣旨	<p>近年、小・中学校、高等学校において、児童・生徒の「主体的、対話的で深い学び」が求められており、その視点に基づいた授業の工夫・改善が行われている。この「主体的な学び」は、文部科学省が長年にわたってその実現を求め、大学教育においてはおよそ10年前にその質的転換に向けてアクティブ・ラーニングの導入が必要とされた。調理師養成施設においても、これからの時代に即した調理師を養成するため、学生たちが主体的に課題に取り組み、また卒業後も自発的に学び続けることを念頭に置いて授業を行う必要があると思われる。</p> <p>養成施設での調理実習については、レシピを示し、その内容に従って料理を作成し、技術を向上させることに重きが置かれることが多く、養成施設における調理実習の中で生徒が主体的に学ぶようにするにはどうすればよいかについては、養成施設全体としてはあまり研究されていないと思われる。</p> <p>当分科会では、調理実習において「主体的な追究と学び」を実現する授業を行うことで、主体的な学習を促進し、自立した調理師としての自覚を促すことを目指すとともに、学校間で積極的に情報・意見交換、新たな教育内容や指導方法の開発、提案を行うことで、創造性に富んだ調理師を輩出し、調理師養成施設全体の質を向上させることを目指す。</p>
研究分野	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育内容の開発、提案</li> <li>2 指導方法の開発、提案</li> <li>3 教育成果の分析</li> </ol>
分科会長	平野朝久 学会運営部会員
構成メンバー	調理師養成施設教員、教育関係者 等
設置時期	2024年1月～2024年12月（2026年12月まで延長可）
発表時期	2025年学術大会